

テアトルフォンテこども演劇ワークショップ 2009

伝えるコトバ ~こどもが読む宮沢賢治~ 発表会



赤い手の長い蜘蛛と、銀いろのなめくちと、顔を洗ったことのない狸が、
いっしょに洞熊学校にはひりました。

宮沢賢治 作

ほらくまがっこう

そつぎょう

さんにん

洞熊学校を卒業した三人

2009年 7月4日(土) 午後2時開演 (1時30分開場)

横浜市泉区民文化センター テアトルフォンテ ホール

(相鉄いずみ野線「いずみ中央」駅下車 すぐ)

入場無料

どなたでも自由に
ごらんいただけます

構成・演出 ^{とう}東の宮 ^{みや}美智子

出演 ワークショップ参加者のみなさん

お問合せ: 横浜市泉区民文化センター テアトルフォンテ

(指定管理者 神奈川共立・共立・山武 共同事業体)

TEL 045-805-4000 <http://www.theatre-fonte.com>



あらすじ

赤い手の長いクモと、銀色のナメクジと、顔を洗ったことのないタヌキが一緒に洞熊学校に入りました。

洞熊先生が教えたことは、三つでした。

一つは、うさぎと亀のかけくらのことで、

もう一つは、大きいものが一番立派だということでした。

洞熊学校を卒業したクモとナメクジとタヌキの三人は、

洞熊先生の「大きいものが一番立派」という教えを守ろうとして、

それぞれ競争を始めるのですが……

三人は、大きくなろうと他の生き物を食べるため、様々な手を使います。

クモは、クモの巣を少しずつ大きくしながら、巣にかかった生き物を食べてしまいます。

ナメクジは、親切なふりをして、訪ねてきた生き物をだまして、食べてしまいます。

タヌキは、救いを求めてやってきた生き物を、山猫大明神の思し召しと説きふせ、

食べてしまいます。

さて、大きくなろうとした三人の結果は……



出演者

市石 佳那

稲垣 優花

猪俣 優紀乃

高橋 里緒

中瀬 かほ

樋口 瑞穂

前坂 結衣

村田 遊楽

出演者は、都合により変更する場合がございます。

交通アクセス

電車ご利用の場合

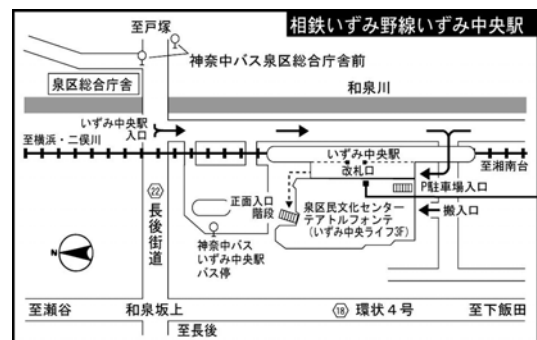
相鉄いずみ野線「いずみ中央」駅下車
(横浜駅から約24分、湘南台駅から約5分)

バスご利用の場合

神奈中バス「泉区総合庁舎前」下車
(戸塚バスセンターから約25分、長後駅から約10分)

お車ご利用の場合

いずみ中央ライフ駐車場(有料)をご利用下さい



エレベーターご利用の方は、
インターホンを押して下さい。
係員が対応いたします。

横浜市泉区民文化センター テアトルフォンテ (指定管理者 神奈川共立・共立・山武 共同事業体)

〒245-0016 横浜市泉区和泉町 3511-9 いずみ中央ライフ3F

TEL 045-805-4000 FAX 045-805-4100 ホームページ <http://www.theatre-fonte.com>